

2023 年 9 月 25 日

各位

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
レフェリー委員会
委員長 佐藤雅広

V S S ローカルルール

V S S（ビデオサポートシステム）のローカルルールとして、下記の通り運用致します。

1. ゴールの確認

従来通り、ショットがゴールしたかどうかの確認です。

2. プレーの確認

例：①ラインズパーソン申告によるメジャーペナルティ以上に相当する行為の確認

② 4 人制において、2 人のレフェリーの科したペナルティの整合性確認＝反則行為があったのは明らかだが、両者がそれぞれ別のチームによるものと判断している、反則をしたと認定した選手が異なる など

③ハイスティックングによる反則において、接触がフォロースルーによるものか否か

④マイナーかメジャーかの判断ができないとき＝チェックングトゥザヘッドでファーストタッチが頭部か否か、エルボーが顔部に当たっているか など

⑤その他 選手が倒れて血を流しているが、原因を確認できなかった など

3. 運用にあたって

- 1) レフェリー自身が確認するかどうかを決定し、チームからの申し入れ＝チームチャレンジは受け付けない。
- 2) 単にマイナーペナルティ相当の反則行為があったか否かの確認をするものではない。
・レフェリーは自身の判断のみでペナルティを科すかどうかを決定する
- 3) 確認はレフェリー及び R S V, G S V のみとし、その他は操作担当者以外関与しない。
- 4) 確認後は両チームに確認理由、確認結果を説明するとともに、必要に応じて場内アナウンスを行う。

※過度の確認は両チームに不信感を与え、不公平感を募らせ、レフェリーへの信頼感がなくなります。
本ローカルルールの趣旨を理解の上で運用してください。

以上